

## 平成 29 年度日本植物病理学会関西支部のお知らせ

平成 29 年度関西支部開催地委員長 東條元昭

平成 29 年度日本植物病理学会関西支部を下記のとおり開催致しますので、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

### I. 日程と会場（時刻は予定です）

- ・日時：平成 29 年 9 月 19 日（火）
  - 12：00～ 受付 <B3 棟 1 階>
  - 13：30～14：30 総会 <B1 棟 2 階東大教室>
  - 15：00～18：00 一般講演 <B3 棟 1 階>
  - 18：30～20：30 情報交換会 <C1 棟 学術交流会館>
- 平成 29 年 9 月 20 日（水）
  - 9：15～12：30 一般講演 <B3 棟 1 階>

・会場：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス {〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 (<http://www.osakafu-u.ac.jp/>) }

### II. 参加申込

- ・締切：平成 29 年 7 月 25 日（火）
- ・費用：参加費 **3,500 円**（講演要旨集 1 部を含む，7 月 26 日以降は 4,500 円），
  - ：講演要旨集のみ 1 部 **2,000 円**，
  - ：情報交換会費 **5,000 円（学生 3,000 円）**
- ・要領：同封の郵便振替払込取扱票（口座番号：00970-1-332864，加入者名：平成 29 年度植物病理学会関西支部）（他行からの振込みをされる場合は，ゆうちょ銀行 店名：〇九九（ゼロキュウキュウ）店，当座，口座番号：0332864）に必要事項を記入し，締切日までにご送金ください。郵便振替払込取扱票による送金をもって部会参加の申し込みとします。整理の都合上，払込用紙は参加者 1 名ごとに 1 枚をお使いください。払込用紙をさらに必要とされる場合は，郵便局に備え付けの用紙をご利用ください。その場合，通信欄に送金内訳と住所を記入して下さい。講演要旨集と名札/領収書は当日受付にてお渡しします。講演プログラムは 9 月初旬に学会 HP にて公開します。名札は領収書を兼ねますので，部会参加期間中は必ず携行してください。なお，当日参加されなかった場合には，講演要旨集と名札/領収書を後日お送りします。払込用紙の通信欄のコピーを名札および講演要旨集などの送り先情報として使いますので明確に記入して下さい。

### III. 発表申込

- ・締切：平成 29 年 7 月 25 日（火）17：00
- ・要領：発表ができるのは日本植物病理学会会員（平成 29 年度会費納入者）で，1 人 1 題のみとします。発表希望者は，末尾「講演要旨原稿作成要領」に従って講演要旨原稿を MS Word のファイルで作成し（講演要旨様式テンプレートファイル（H29Kansai\_form.dotx）は、日本植物病理学会ホームページ {研究集会(2017)—関西支部} からダウンロードできます），E-mail 添付ファイルとして本年度の関西支部プログラム編集委員会のアドレス ([kansai@tiger.kobe-u.ac.jp](mailto:kansai@tiger.kobe-u.ac.jp))

宛にご送付下さい。E-mail の題名（件名）は、「要旨」+「:」+「発表者氏名」として下さい。また、添付ファイル名は「発表者氏名.docx」として下さい。原稿が正しく受け付けられた場合には、受け取りのメールを送付者宛に返送します。受け取りのメールは1~3日で送付しますが、届かない場合は正しく受け付けられていない可能性がありますので再送付して下さい。講演要旨原稿送付をもって発表の申し込みと致します。なお、講演要旨は座長等による審査の後に「日本植物病理学会報」に掲載されます。

#### IV. 発表の形式と要領

- ・発表形式：発表は口頭のみで行います。ポスター発表は行いません。
- ・口頭発表要領：口頭発表は討論時間を含めて12分程度を予定していますが、演題数によって変更することがあります。発表用ファイルは、前もってWindows版「PowerPoint 2013」で正常に表示されることを必ずご確認ください。ウイルスチェックをお済ませの上、USBメモリーに保存してください。ファイル名はすべて半角英数字で「講演番号-発表者姓.pptx」として下さい（例「001-Tojo.pptx」）。発表用ファイルは、**部会初日に発表の方は19日午後2時までに、二日目に発表の方は19日午後5時30分までに、B3棟1階受付横にてパソコンにコピーし動作確認をお願いします。**お持ちいただいたUSBメモリーはその場で返却いたします。なお、サイズが重いファイルはパソコン動作に不具合をきたすことがありますので、なるべく軽いファイルをご準備ください。

#### V. 宿泊と交通

開催地事務局では宿泊・交通等の斡旋を行いませんので、各自で手配をお願い致します。会場の大阪府立大学近辺には宿泊施設がほとんどありません。南海高野線堺東駅周辺あるいは大阪市内でのご宿泊をお勧めします。近年、大阪ではビジネスホテルの予約が取りにくい状況が続いておりますので、早めの宿の確保をお願いいたします。

<会場までのアクセス>※車でのご来場はお控えください

- ・南海高野線「白鷺駅」から南西へ約500m、徒歩約6分
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」から南東へ約1km、徒歩約13分
- ・地下鉄御堂筋線「なかもず駅（5号出口）」から南東へ約1km、徒歩約13分



## VI. 昼食、無線 LAN、託児室の利用について

昼食は、大学生協のレストランがご利用できます。また、大学近辺には飲食店およびコンビニエンスストアが多数あります。開催期間の二日間、インターネット接続サービスとしまして、Wi-Fi（無線 LAN）アクセスポイントを設置します。メイン会場の B3 棟 116, 117, 118 号室でインターネット接続が可能です。無線 LAN を利用するための SSID と WPA2 キーは当日受付にてお知らせします。また、お子様を連れて参加される方で託児室での保育（有料）を希望される場合は、8 月 10 日までに開催地事務局までご連絡ください。

## VII. 連絡先

平成 29 年度関西西部会の各種お問い合わせ等は関西西部会開催地事務局へお願い致します。

・平成 29 年度日本植物病理学会関西西部会開催地事務局

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 植物生体防御学グループ内

TEL/FAX : 072-254-9411（開催地委員長 東條元昭）, 072-254-8459（事務幹事 望月知史）

E-mail : h29bukai@plant.osakafu-u.ac.jp

### H29 年度関西西部会講演要旨原稿作成要領（昨年度と同じです）

※講演要旨様式テンプレートファイル（H29Kansai\_form.dotx）が、日本植物病理学会ホームページ {研究集会(2017)—関西西部会（<http://www.ppsj.org/meeting.html>）} からダウンロードできます

#### <全体の大きさ>

- ・和文講演者氏名から所属略称までが、縦73 mm，横161 mm の枠に収まるようにする。
- ・1つのファイルに収める講演要旨原稿は1つとすること。

#### <ページ設定>

- ・用紙サイズ：A4用紙，縦方向。
- ・余白：上 15 mm，下 30 mm，左 25 mm，右 25 mm。
- ・文字数と行数：「文字数と行数を指定する」を選択し，文字数50，字送り9 pt，行数51，行送り14 pt。

#### <配置>

両端揃え(所属略称のみ右端揃え)

#### <フォント>

- ・フォントサイズ：すべて9 pt。
- ・日本語用フォント：平成明朝またはMS明朝（但し和文題目のみ平成角ゴシックまたはMSゴシック）。
- ・英数字用フォント：Times New Roman. すべて半角。
- ・句読点：「，」「。」
- ・イタリック指定：題目，本文中とも，学名などイタリックにする必要があるものはすべてイタリックで表記。

#### <和文講演者氏名>

（1行）講演者が複数の場合は中点「・」で区切り，発表者名の前に丸印「○」をつける。所属が異なる場合には，上付き番号「<sup>1</sup>」「<sup>2</sup>」で区別する。

<和文題目>

(2行以内) フォントは平成角ゴシックまたはMSゴシックとする

<英文講演者名と英文題目>

(2行以内) 氏名は, family name, first name initial, middle name initial の順に書き, initialの間にはスペースを空けない. 講演者名と英文題目の間は, コロン「:」で区切る.

<本文>

9行以内で記載する.

<所属略称>

(1行) 括弧「( )」に入れ, 右端揃えとする. 複数の場合は中点「・」で区切り, 和文講演者氏名に対応させて上付き番号「<sup>1</sup>」「<sup>2</sup>」をつける.

<講演要旨原稿の下に, 以下の情報を記入>

- (1) 発表希望分野 (「菌類病」, 「細菌・ファイトプラズマ病」, 「ウイルス・ウイロイド病」, 「植物保護」の中から1つ選ぶ)
- (2) 発表内容 (「分類・同定」, 「検出・診断」, 「病原体の性状」, 「発生生態」, 「感染生理」, 「病原性・抵抗性」, 「防除薬剤・薬剤耐性」, 「生物防除・防除法」, 「その他」の中から1つ選ぶ)
- (3) 対象植物 (和名または学名で示す)
- (4) 対象微生物 (和名または学名で示す)
- (5) 原稿送付者の氏名
- (6) 原稿送付者のE-mailアドレス
- (7) 発表者の学会会員番号 (会員番号は封筒の宛名シールに記載されています. 平成29年度会費未納の方は, 至急会費をお支払いください.)

講演要旨原稿の例

○中川章吾<sup>1</sup>・楠 幹生<sup>2</sup>・埋橋志穂美<sup>3</sup>・東條元昭<sup>1</sup>

*Pythium uncinulatum*によるマーガレット茎根腐病 (新称) と *P. polymastum*によるヒマワリ根腐病  
Nakagawa, S., Kusunoki, M., Uzuhashi, S. and Tojo, M.: Root and stem rot of marguerite caused by *Pythium uncinulatum*, and root rot of sunflower caused by *P. polymastum* in Kagawa Prefecture, Japan.

香川県内の商業栽培圃場において 2014 年 12 月に鉢植えのマーガレットで地際部分の茎の褐変腐敗を伴う根腐れ  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

..... 根腐病 (英名 root rot) を提案したい. (本文 9 行以内厳守!!!)  
(<sup>1</sup>大阪府大生環・<sup>2</sup>香川農試病害虫防除所・<sup>3</sup>農研機構遺伝資源セ)

(1) 菌類病  
(2) 分類・同定  
(3) マーガレット・ヒマワリ  
(4) *Pythium*  
(5) 中川章吾  
(6) xxxxxxx@plant.osakafu-u.ac.jp  
(7) 018271111